

本取り組みは、産業廃棄物処理会社である石坂産業が、工場周辺の荒廃した雑木林を借地し、伐採・更新等の管理作業を継続的に行うことによって、生物多様性の改善を図り、武蔵野の美しい里山を復活させるプロジェクトです。評価されたポイントは以下の通りです。

荒廃した雑木林の保全・再生に貢献

本プロジェクトでは、生物多様性の観点から「くぬぎ山自然再生事業地」の一角に位置する対象地において、区画を変えながら定期的な伐採・更新を繰り返し、森林の遷移初期に生息・生育する動植物の保全、再生を図る計画が策定されています。

緑地を100%保全

本プロジェクトは、かつてのように人の手が入らなくなった雑木林の荒廃が全国的な問題となっている中、地域の自然を守る取り組みとして進められています。50年間の長期にわたって、定期的な伐採や下草刈りなどをしながら、対象地を雑木林や草地として100%保全する計画となっています。



評価対象事業の位置



対象地の雑木林(左が伐採5年目の区画)



明るい雑木林に生育するクチナシグサ
(埼玉県準絶滅危惧種)